

## モザンビーク・ナカラ回廊農業開発支援プロジェクトへの参画

不二製油株式会社

不二製油は、(独法)国際協力機構(JICA)と民間企業が共同で実施しているアフリカ・モザンビークでの農業開発支援プログラム「Pro SAVANA-JBM」に2011年から参画しています。当該プロジェクトは、日本・ブラジル・モザンビークの三角協力のもと、ナカラ回廊地域の貧困な小規模農家を対象として知識・技術支援を行い、トウモロコシやキャッサバといった伝統的な作物の生産性を向上するとともに、大豆など付加価値の高い農作物の導入を試みるものです。さらに、投資家と農家の橋渡しをすることで、現地の主要ビジネスである農業の成長を促します。不二製油はJICAが主導する現地への大豆の導入に関して技術面での支援を行っており、2013年5月に現地視察を実施。導入する大豆種の選定・品種改良の検討材料となるデータを国際熱帯農業研究所(IITA)モザンビーク事務所の農業試験場に提供し、意見を交換しました。将来的にはモザンビークで育てられた大豆を当社が現地で調達・加工することで、新たなビジネスを育てていくことも検討しています。現地の貧困解消と企業の発展を両立させるビジネスモデルの確立に取り組んでいきます。



大豆耕作候補地



ナカラ回廊地域。モザンビーク北部のナカラ港から隣国マラウイまでをつなぐ鉄道・自動車道(ナカラ回廊)沿いの5州からなる